



No.45

2025(令和7)年3月

鳥取市立 中ノ郷地区公民館

〒680-0003 鳥取市覚寺1 1 8

TEL(0857)21-5393

<https://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1/>

R6.12.31現在 世帯数1,521 人口3,719 鳥取市HPより



新たに始まった公民館職員の評価

中ノ郷地区公民館長 矢部 敏昭

評価は、種々の目的によってその評価する項目は異なり、また評価者も異なります。地区公民館の目的が地域住民の皆さんの生涯学習の拠点であり、人と人が集い・学び・結ぶところの人間関係の拡大と地域の絆を確かなものにするにあるならば、令和6年度から始まった公民館職員の評価もまたその観点から評価されるものであります。

地域の仲間づくり事業は、地域住民の皆さんが気軽に集い・学ぶものであり、その事業の先には参加された皆さんが中心となって自分の町内会で仲間の輪が広がっていくことが期待されます。子どもと大人のふれあい事業は、様々な年代の人と出会い、いろいろな体験活動を通して世代を超えて人と人とを結ぶものであり、その事業の先には子ども達の健全な成長と豊かな日常の過ごし方もたらされます。また、人権啓発推進事業は、地域の皆さんが互いに尊重し合い一人ひとりの個性を認め・受け入れる学びを通して、その事業の先には人と人とが繋がりが支え合える地域が創られること

でしょう。そして、特色ある公民館活動事業の「教養大楽」は地域の歴史や伝統・文化を知り、それを継承していくとともに「地域に誇りを持ち一人一人が輝き活気あふれるまちづくり」(中ノ郷地域「ミニユニティ計画」)に結びつけていくもの(こけい)。

このように考えますと、公民館の評価は公民館が行う種々の事業をはじめ、定期的に公民館に来られ、教室やサークルなどに参加される皆さん自身が評価の対象者そのものと言えます。つまり、地域の皆さんが生き生きと楽しく事業や活動に参加されている姿、また活動を終え公民館職員に笑顔で挨拶されて帰る姿が、公民館職員の評価になると思われます。なぜならば、公民館職員の評価は、公民館が行う事業が参加者の皆さんの希望や要望に応えているかどうかを判断するとともに、より良い事業への改善にあるからです。また、教室やサークル等の活動が行い易く、それらの活動に適した環境に整えられているかどうかであり、活動後は参加者の満足感や充実感にあるからです。

新たに公民館職員の評価も導入されましたが、評価の大切なところは決してABCなどのランク付けや、12345などの数値化や序列化にあるのではなく、公民館事業や種々の活動の、より利用者に即した改善にあると考えます。

三十一年目を迎えた中ノ郷地区公民館は、今後さらに地区住民の皆さんが公民館に気軽に立ち寄り、日々の生活に豊かさが少しでももたらされるように努めてまいります。

緑風

公民館事業に思うこと

中ノ郷地区公民館では、集う・学ぶ・結ぶを活動の基本理念として①特色ある公民館活動事業、②地域の仲間づくり事業、③人権啓発推進事業、④異世代交流の四事業について、計画し実行しております。過去、コロナ禍で公民館利用を控える時期もありましたが、コロナが五類に転じたからは、各種の事業や講座等の参加者が増加し、その内容も充実してきているように思います。特に、異世代交流事業については、子ども、保護者、高齢者が関心を抱き、助け合い、共に楽しむ等、実のある異世代交流事業が求められます。

さて、中ノ郷地区では少子高齢化、とりわけ高齢化が加速し、フレイル予防等健康問題が喫緊の課題となっております。公民館の教室の一つに、高齢者を主な対象にした「中ノ郷健康マージャン教室」がある。毎週金曜日の午後「金を賭けない」「煙草を吸わない」「酒を飲まない」の三大モットーの下、マージャンを実施しています。特に、認知症予防という健康マージャンチームに乗って会員数が現在三十四名(平均年齢七十三歳)と激増しています。高齢者が公民館に足を運ぶ理由として、好きな趣味、お金がかからない、交流や会話ができる、そして、頭脳や身体を使うフレイル予防に役立つことが考えられます。終わりに、子ども、保護者、高齢者、全世代が参加できるとともに、目的に沿った成果の上がる事業が推進されることを願っています。

小

特色ある公民館活動事業

ふるさと教養大衆

5月14日	開講式 地域の歴史を学ぶ「摩尼寺」
6月18日	神戸 人と防災未来センター
11月11日	豊岡市安国寺・ジオパークと海の文化館
3月17日	舞鶴引揚記念館・赤レンガ倉庫
3月26日	閉講式・マジックショー



香美町ジオパークと海の文化館



地域の歴史 摩尼寺 住職のお話



神戸 人と防災未来センター

子どもと大人のふれあい事業

異世代交流事業

子どもたちに、様々な人との出会いや様々な体験活動の場を提供して、子どもたちの健全な成長に資する事業です。

4月22日	科学を体験教室① 「糸でんわをつくろう」
4月30日	科学を体験教室② 「木工パズルづくり」
6月14日	ものづくり教室① 「ペットボトル空気砲づくり」
7月20日	ラジオ体操・地域奉仕活動
7月30日	現地学習会 「あおや和紙工房&青谷かみじち史跡公園」
8月6日	ものづくり教室② 「小枝でランプシェードづくり」
10月19日	公民館花いっぱい活動
10月26日	科学を体験教室③ 「スライムづくり」
11月1日	やってみよう!デー (day) 「パッチワーク体験教室」
11月30日	もちつき体験
12月25日	みんなで歌ってクリスマス会
3月8日	みんなでポップコンづくり



糸でんわをつくろう



木工パズルづくり



ペットボトル空気砲づくり



ラジオ体操



地域奉仕活動



公民館花いっぱい活動



現地学習会



パッチワーク体験教室



小枝でランプシェードづくり



もちつき体験



みんなで歌ってクリスマス会



スライムづくり

地域の仲間づくり事業

教養講座

地域の皆さんの関心が高い健康についてのお話や、趣味として、始められるものづくり等、様々な講座を開催しています。一緒に学び楽しみながら地域の仲間との繋がりを広げて深める講座です。

5月13日	家庭菜園教室
5月22日	紫外線対策講座
5月27日	洋ランの育て方教室
6月10日	小学校の植木剪定
6月11日 12日	クラフトテープでかご作り
7月10日	洋ランの育て方教室 2
8月29日	木製鉢カバー作り
9月12日	認知症を知って、備えよう
9月24日	スマホ教室
10月23日	パッチワークのコースター作り
10月26日	お茶席体験
11月 2日	太閤ヶ平鳥取城を学ぶ
12月 9日	そば打ち体験
12月19日	生活習慣病予防料理教室
2月10日	魚のさばき方教室



洋ランの育て方教室



クラフトテープでかご作り



木製鉢カバー作り



認知症を知って、備えよう



スマホ教室



パッチワークのコースター作り



中ノ郷ウォーキング (太閤ヶ平)

雨天のため しゃんしゃん体操・鳥取城にまつわる歴史の話



そば打ち体験



生活習慣病予防料理教室



人権啓発推進事業

12月14日	人権講演会・人生は全て繋がっている
3月3日	国際交流事業・台湾を学ぼう
3月17日	現地学習 (教養大衆・舞鶴引揚記念館)



人権講演会

特集 公民館運営委員会の評議員の皆様にお集まりいただいて

座談会



公民館の事業に対する新たな一歩を踏み出すために、公民館運営委員会の評議員の皆様にお集まりいただき座談会を開きました。今後も中ノ郷地区の皆様からの忌憚のない声をお聞きし生かしてまいります。

【座談会に参加いただいた皆様】

運営委員長 高田 節子さん
副委員長 西尾 邦彦さん
副委員長 小林 壽幸さん
評議員 山中美津子さん
評議員 福浜 隆宏さん
(公民館職員 矢部 浅井 柏見)



1. 過去の事業を振り返り、現在の事業を見直す

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

過去の事業を振り返り、現在の公民館事業についてお話し下さい。では、よろしくお願ひします。

■西尾 中ノ郷小学校が開校された当初、そして未だ城北校区であった頃からの経過を辿ると古いものや伝統芸能などよく引き継がれていると思う。特に「もちつき体験」はコロナで行われなくなったが、復活したことは感動的であった。



■高田 この中ノ郷は旧村と新の住民との融合が上手くいった地域だと受け止めている。子を通して親同士が知り合い、互いに受け入れ合いよい関係が出来上がっている。伝統が受け継がれることを期待し、覚寺と円護寺の歴史を大切にしてほしい。公民館の役割の一つとして新旧住民の交流の機会と、若い世代を取り込む工夫が必要。



■小林 私が公民館に関わって7年、8年になるが、ここ1年、2年の公民館事業の企画力は高まっているように感じる。特色ある事業の教養大衆をはじめ、「集い・学び・結ぶ」など公民館の4つの事業について、今後さらに充実した方向へ進めてほしい。



■山中 私が嫁いできた40年くらい前はとても寂しい地域でしたが、だんだん人口も増えにぎやかになりました。公民館活動に若い人たちは参加したくても仕事があり、参加できないのではないかと思う。今、公民館はとても活性化されている。伝統芸能の覚寺と円護寺の獅子舞は異なるので知ってほしい。開校当時は、この地域や小学校は活気にあふれて盛り上がっていた。



■福浜 私が地区に参加したのは約30年前で、福本元館長のときには文部大臣賞を受けられ、まちづくりが熱心だった。現館長に代わられて、公民館により一層来やすくなったという評判をよく耳にしてとても有難い。心配することは、高齢化で特に町内会加入率が減ってきていること。なぜ町内会が必要なのか、と同時になぜ公民館が必要なのか。さらに5年先を考えると高齢化に対応した公民館の在り方が必要なのかも知れない。また小学校の校区再編が動き出している。



■矢部 高齢化について、最新の人口構成を調べる限り、山城町は65歳以上が4割に近く、北園2丁目は4割を超えています。覚寺は覚寺口と、円護寺は円護寺団地と一緒にいるので数はみえないが、おそらく覚寺と円護寺も4割に達していると推測します。

■西尾 町内会の加入率について、脱退する理由は役員になりたくないという意見があるがそれは

方便だろう。町内会の在り方も考える必要がある。住民の横のつながりが必要なのだと思う。

■浅井 地区住民として意見を申し上げれば、当時は旧地区の皆さんが「やってみたら」と背中を押してくれたし、一緒に頑張ろうと協力してくれました。職員として他の地区に出てわかったことは、中ノ郷地区は新しい住民との関係が良いと本当に強く感じる。伝統芸能は何年か前に、円護寺の獅子舞と覚寺の獅子舞が共演し、その違いがよくわかった。なぜ実現できたか、それは福本元館長が両地区に働きかけたから。さらに当時は「さいとりさし」を公民館で毎週練習していた。

■柘見 私はここに来て2年弱ですが、公民館が来やすい場所になるよう住民目線で働かせていただいている。大人と子どものふれあい事業に関わっていますが、大人は大人で、子どもは子どもで遊ぶ。そこで、子どもたちに興味を抱くように「ぼんぼん船」の事業を行った。その時は子どもの目が輝き、保護者の方も参加し他の子どもの面倒をみてくれた。はじめて触れ合い事業になったと思った。公民館はコミュニティの拠点と思い、館長とはいつも事業の進め方に関する細かい話ではなく、理念や目的を話し合っている。事業の目的や理念がはっきりすると新たな企画が生まれやすいので取り組んでいる。

■矢部 事業について私の考えをもう一歩進めると、いつもお客さんになっている子どもたちが主体になった企画や事業を進めたい。

■小林 私は紙すきに同行したが子守にいった感じだった。館長や柘見さんが言うように子どもが主体となるのが大事かと思う。

■柘見 昨年のクリスマス会、大人と子どもの歌のギャップに驚いたが一緒に歌える歌で交流が生まれた。

■高田 公民館の役割は住民の願いが叶い交流によって繋がる場。子どもが主体となり様々な世代が交流する一つとして「子どもふろしき市」は面白い。店主の子どもがふろしき1枚分のスペースで要らなくなった本やおもちゃを売るという企画。

2. 公民館への願い・期待を語り、現在の講座・事業を見直す

■小林 これから公民館に期待したいことは高齢者を講師にして子ども達が参加する歴史探訪を増やしてほしい。吉川公園をはじめ、地区の歴史や古墳群、ビルマ塔、八幡池、魔尼山など歩いて訪れる場所が沢山ある。

■西尾 山城町内の丸山にも多くの貴重な歴史的なものがある。丸山の登山口などいろいろ考えられる。

■柘見 若い住民は中ノ郷地区の地理や歴史はあまり知らないでしょうから、学校の保護者の参加のために学校に働きかけ、合同で行いたい。

■福浜 親が参加する事業はとて素晴らしい。土日は忙しいが小学校にはPTAや親子会があるので、是非公民館から学校へ働きかけてほしい。

■浅井 各種団体と協働で行う事業は進めていますが、学校の親子会と寄り添う事業なども行っていきたいし進めたい。

■山中 親を巻き込んだ事業は、皆さんが言う通り大切だと思う。是非、これからも進めていてもらいたい。

■矢部 積極的に公民館に対するご意見や期待を語っていただき、また、新たな事業の提案もいただきありがとうございます。



参加者の声



異世代交流

科学を体験教室「スライムづくり」

- ・説明がわかりやすかった。説明通りに作ったらできた。(未就学生の保護者)
- ・うまくできなかつたのは、ホウ砂を入れすぎたと思う。(3年生)
- ・思い通りの色でちゃんと固まって、うまくいったと思った。(6年生)



人権教育推進事業

人権講演会「人生は全て繋がっている」

- ・とてもわかりやすく聞けました。
- ・人と人が支え合う大切さを改めて感じました。
- ・これからの生き方について考えさせられました。

地域の仲間づくり

魚のさばき方教室「若松葉ガニ」

- ・調理の仕方から、食べ方まで大変参考になりました。
- ・プロの方の指導で新しい発見があり、勉強になりました。
- ・全ての料理がとても美味しかったです。

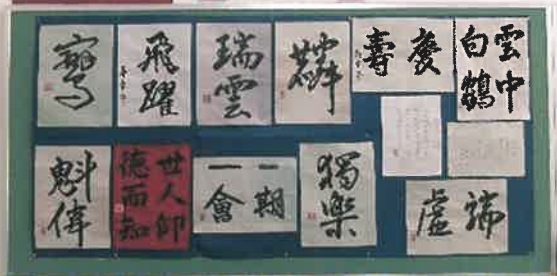


教養大衆

安国寺(豊岡市)

- ・皆さんと楽しく学ぶことができました。
- ・見学場所が2か所ですっきりできました。
- ・紅葉には少し早かったがとてもきれいでした。

書道教室



菊作り

切り絵教室



絵手紙

ミニギャラリー

編集後記

公民館は、講座・行事・サークル活動等によって、地域の方々のふれあいの場として大きな役割を果たしていることが理解していただけたのではないでしょう。今後の課題の一つとしては、幅広い年齢層の参加を促し、より地域の交流の輪を広げていくことがあげられます。そうした中、様々な図書を集め、地域の方々の趣味や興味・関心などのニーズを捉え、公民館が交流の輪を広げる支援をしていく試みがなされようとしています。中ノ郷発の活動が生まれることへの夢が広がります。

- 編集委員**
- 委員長 山本 正人
 - 委員 高田 節子
 - 小林 壽幸
 - 山中美津子
 - 中西須美子



データでみる中ノ郷地区の人口構成
 中ノ郷地区と鳥取市の人口の対比
 年齢層の三つの区分を見る限り、ほぼ同じような人口構成であることがわかります。(年齢層の区分は、〇歳～一四歳、十五歳～六十四歳、六十五歳以上です) 町内会によっては六十五歳以上の割合が四割を超える地区があります。